

しっかりと総括し次の闘いへ

第6回中央委員会

春闘方針・自治研方針を確立



東京 清掃労働組合
千代田区飯田橋3-9-3
TEL (3237) 9995
1部20円

編集責任
企画・総務局
斉藤 幸司

わが組合の綱領

一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。

二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。

三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

改憲と労働法制の破壊を阻止 参院選「えさき たかし」の必勝を



▲ 中里副委員長から自治研方針を提案

2月15日、SKホールにて、第6回中央委員会が開催されました。第5回中央委員会提案し、職場討議を行っていた「2016年度春闘期を中心とした当面の闘争方針」ならびに「自治研活動に関わる当面の方針」を満場一致で確認しました。

2016年度の新規採用を5区と一組で勝ち取っています。この勢いを止めることなく次の闘いに入ります。方針に基づき、全組合員の総力で取組みを進めましょう。

「2016年度春闘期を 各区分交渉事項の共有化や中心とした当面の闘争方針 統一的な闘い方についても針」は、民間の春闘に連帯し、成果を我々の秋季賃金確定闘争に繋げることももちろん、この間低下してい

16年度「5区」一組で新規採用を勝ち取る

また、今期から各区分一勝取らなくてはなりません。家族も含めた全組合員に専念する体制としました。自治労ストライキ批准投票は高率で批准されま

また、今期から各区分一勝取らなくてはなりません。家族も含めた全組合員に専念する体制としました。自治労ストライキ批准投票は高率で批准されま

また、今期から各区分一勝取らなくてはなりません。家族も含めた全組合員に専念する体制としました。自治労ストライキ批准投票は高率で批准されま

また、今期から各区分一勝取らなくてはなりません。家族も含めた全組合員に専念する体制としました。自治労ストライキ批准投票は高率で批准されま

区民から必要とされる存在になるために

ただ今、区民から必要とされる存在になるために、金・労働条件にしか取組まないうる区民はほとんどありません。区民から信頼され、「清掃事業」も「職員」もなくなればならぬ存在にしていけるための

専従役員への積極的な活用を

春闘期の闘い、自治研の取組みはもちろん、日常的な労使協議に関わる問題や、支部運営に関わる悩みなどについても、専従役員を中心に常任中央執行委員が支部に足を運んでオルグや課題への対応を行います。支部・地連・本部の有機的な結合によって運動を前進させるための新たな組織体制



▶ 山崎代議員(北支部)

▶ 山崎代議員(練馬工場支部)

- 春闘方針・自治研方針に基づく
当面の日程
- ◆ 各地連春闘討議集会 (3月中に開催)
 - ◆ 春闘連続講座 (演題は全て仮)
 - ① 3月18日(金) 「労働法制破壊と労働組合の課題」 指宿 昭一 弁護士
 - ② 3月23日(水) 「国会情勢報告・労働組合が政治闘争を取組む意義」 えさき たかし 参議院議員
 - ③ 3月30日(水) 「自治体現業労働運動の課題」 小迫 敏宏 自治労現業局長
 - ◆ 第53回自治研集会 5月29日(日)～30日(月)
 - ◆ 第41回組織集会 7月17日(日)

参議院議員 **えさき たかし**

つながろう、ともに声を上げ、明るい未来を咲かせよう。

長野県軽井沢町でスキーツアーの大型バスが道路脇に転落し、乗客・乗員一五名が死亡した事故から一ヶ月半が経過した。現場には花を手向けて、手を合わせ、人が今でも相次いで訪れている。規制緩和と外国人観光客の急増などでバスの需要が高まり、人手不足から運転手の高齢化が進んでいる。低賃金で長時間労働を強いられ、今回の事故もこうした労働条件の悪化が原因のひとつであることは疑いようがない。

労働者が安心して働き、健康に生活することができなければ社会の安全さえも保てない。労働条件を向上させることは市民の命を守ることに繋がっているのだ。今回の事件であらためて労働組合の必要性が明らかになった。突然に命を絶たれた多くの若者のために、我々は自信をもって働き、自信をもって交渉に臨もう。

(K・S)

また、電話での相談も含

交渉力・現場力・団結力で新規採用 狭小路地は徒歩で運び出し収集

いま No.13
清掃事業は...
▶▶▶ 文京区



▲狭小路地は軽小でもごみを踏んでしまう



▲徒歩で運び出し、きれいな街並みを維持

文京支部は、本所(作業・分室作業)・播磨坂事業所(運転)の3所で執行され、組合員数は一般組合員100名と再任用組合員9名で組織されています。2015年度作業計画についてはここ数年のごみ排出量の傾向から、週前半計画・週後半計画・5週目計画(不燃収集が無い)の3つの計画となっています。

週前半計画の稼働台数は小ブW17組(直営15台)、小特W5組、軽小7組、ふれあい班2組体制で業務にあたっています。

平成27年に文京区の人口は21万人を超え、それに伴い多くの集合住宅等の建設がされています。人口の増加に反比例しごみは微減していますが、集積所箇所数は年間約250箇所以上増加しています。サマル導入以降可燃ごみの体積が増え集積所が大きくなり通行の妨げになったこと、また住民の高齢化に伴い集積所の管理が困難になった等が大きい要因と考えられています。

このことから、集積所の新規・分散・戸別収集が進んでいます。狭小路地での分散等は、集積所の新規・分散(文京区担当中央執行委員 渡辺一彦)

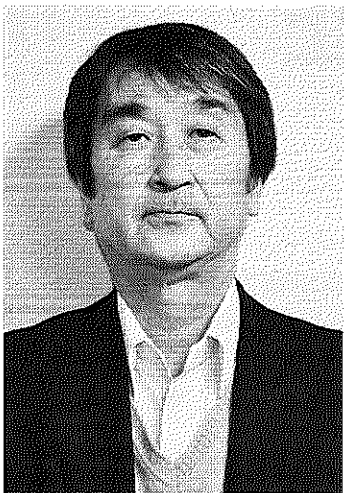
での分散等は特に問題であり、ステーション収集が基本の考えとしながらも戸別での対応をしいられています。軽小でも入れない現場が多く、徒歩にて運び出しを行わなければならず、今後更に増加する見込みから機材要求の強化を重点課題として取り組んでいます。

人員については、遡ること7年前(2009年1月)、当局は人員ありきの作業計画を提案してきました。我々は当局に対し白紙撤回を求め、同年2月に当日出勤者している全組合員による要請行動を展開し、「可燃と不燃は直営で行う」とした考えを当局から出させました。

そして交渉力・現場力・団結力を高め闘った結果、新しい仲間を迎えることができました。支部組合員が誰一人、何かひとつ欠けていても、なし得ることはできなかったことです。

今後、様々な問題課題が押し寄せるとしても、退職する際この職場でこの仕事でこの仲間と会えて良かったと思える職場を皆で作っていきます。

元三鷹市職労のオルグ書記など経験豊富な方



▲たよりになる存在です

新任 新書記 **森谷 浩司さん**

新たな書記として森谷浩司さんが本部事務局長に加わりました。城川書記が今年度をもって退職されることになった関係で、引継ぎも含めて2月1日から勤務をしていただいています。森谷さんは国鉄闘争北見闘争団を経験していますが、宜しくお願いいたします。

森谷さんからは、この度、東京清掃労働組合に書記としてお世話になります。森谷さんと申します。これから大変なことばかりですが、宜しくお願いいたします。

長年にわたるご活躍に心から感謝申し上げます



▲ご尽力に敬意を表します

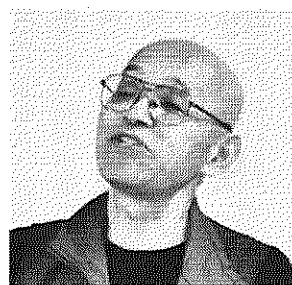
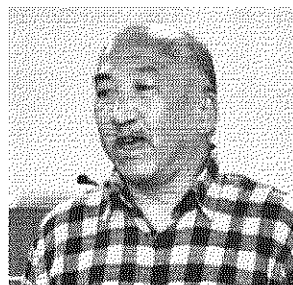
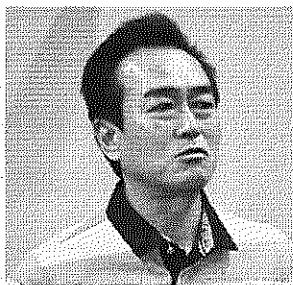
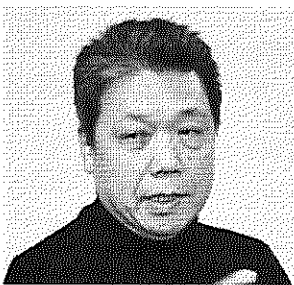
退任 都市清掃 **吉田 壽 議長**

2月18日(20日)に、都市清掃労働組合協議会第71回定期大会が新宿清掃事務所にて開催されました。今大会をもって、全国の清掃労働者の先頭に立ってご尽力された吉田壽さんが議長の前から退任されました。

古川新議長(大阪)を先頭とする新体制で、吉田前議長から受けたバトンを一歩ずつ前に進めていきます。

長年にわたるご活躍に心から感謝申し上げます。

「2015年度」退職者送別会 長い間本当にありがとうございました



2月16日、SKホールにおいて、2015年度退職者送別会を開催しました。今年度退職を迎えられる多くの先輩にお集まりいただき、お酒も入りながら、楽しく歓談をしました。全員から一言ずつ挨拶をいただき、昔を懐かしむとともに明日からの活力を得ることができました。

今日の東京清掃があるのは、先輩達の努力があったからです。とりわけ、区移管闘争を経て各区・一組での労使関係を構築し、労働条件の確立にご尽力いただいた先輩達が卒業を迎えています。心から感謝を申し上げますと同時に、引き継いだ私たちはさらに強固な組織として発展させるために全力で取り組みます。長い間本当にありがとうございました。また、再任用として働かれる先輩は、引き続きのご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。

